

一般国道7号

立花交差点整備効果

(平成28年12月完成)

- ① 走行速度が向上し、渋滞が緩和(通常期の走行速度約9km/h向上)
- ② 急ブレーキ発生が大幅に減少(0.8件/100台が0.1件/100台に減少)
- ③ 対策後に死傷事故は未発生、道路利用者が効果を実感(利用者の約8割が満足)

【位置図】



整備前の問題点

• 右折レーンが無い場合、右折待ち車両に伴う渋滞や追突事故等が発生

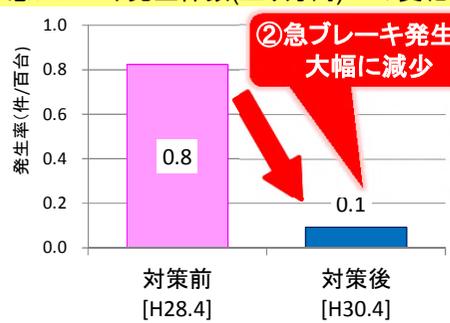


対策効果

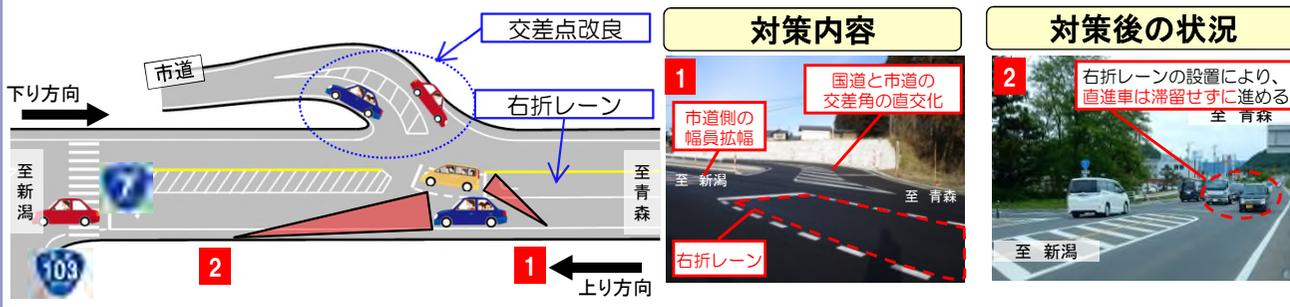
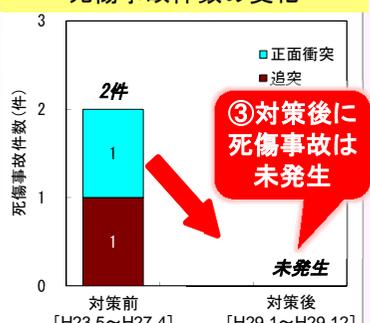
実施対策

• 右折レーン設置と市道の取付角度を改善するため、改良工事を実施(平成28年12月完成)

急ブレーキ発生件数(上り方向)※1の変化



死傷事故件数の変化

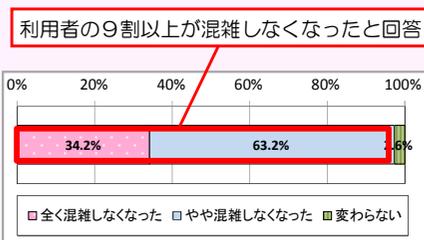
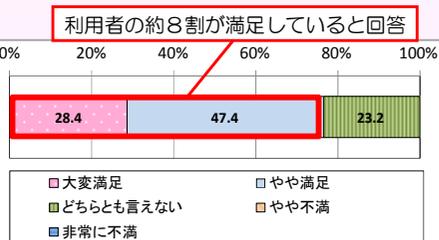


出典: ETC2.0データ
※1 交差点付近(停止線から50m区間)における通過100台当たりの急ブレーキ発生件数。前後加速度-0.3G以下を急ブレーキとして集計。

出典: イタルダデータ等

WEBアンケートによる評価

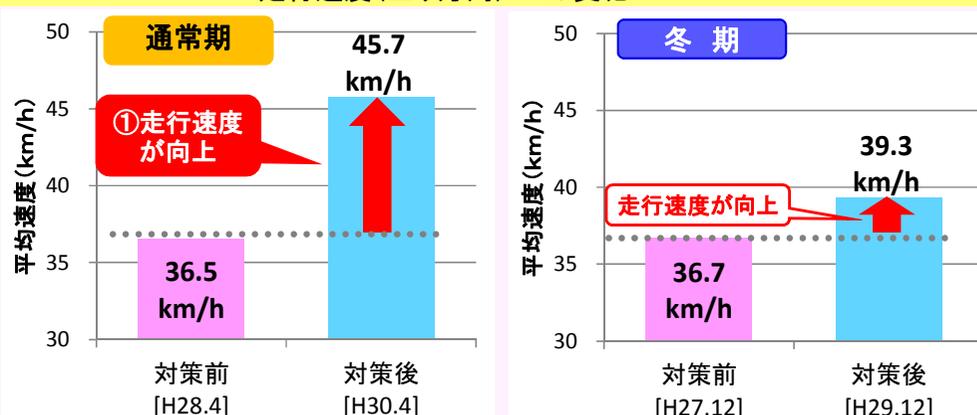
※調査実施日: 平成29年12月28日~平成30年1月14日



▲交通安全対策の満足度についての評価 (有効回答者数 n=94)

▲円滑性の変化についての評価(有効回答者数n=39 ※混雑に巻き込まれた経験がある人)

走行速度(上り方向)※2の変化



※2 交差点付近(停止線から50m区間)の通過車両の平均速度を集計。出典: ETC2.0データ